

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 2 部門第 7 区分
【発行日】令和 4 年 3 月 23 日(2022.3.23)

【公開番号】特開 2020-152548(P2020-152548A)
【公開日】令和 2 年 9 月 24 日(2020.9.24)
【年通号数】公開・登録公報 2020-039
【出願番号】特願 2019-53982(P2019-53982)
【国際特許分類】

B 6 6 F 3/08(2006.01)

10

【F I】

B 6 6 F 3/08 B

B 6 6 F 3/08 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 3 月 11 日(2022.3.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 2

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【請求項 2】

前記基台上に設けた前記ネジ式シリンダ部材を傾斜姿勢とし、当該傾斜する側に前記支持腕を設けた請求項 1 に記載の救助用ジャッキ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

30

本第 2 発明では、前記基台(1)上に設けた前記ネジ式シリンダ部材(2)を傾斜姿勢とし、当該傾斜する側に前記支持腕(3)を設ける。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

図 1 には本発明の救助用ジャッキの全体斜視図を示す。救助用ジャッキ J は詳細を以下に説明する基台 1 上に伸縮可能なネジ式シリンダ部材 2 (以下、単にシリンダ部材という) を起立姿勢で設けるとともに、当該シリンダ部材 2 の上端に、下方へ長く延びる支持腕 3 の上端(基端) 31 を固定したものである。シリンダ部材 2 の伸縮は、その下端側面に突設された回転操作部 21 に図 1 に示す棒状ハンドル 4 の先端フック部 41 を係止し、棒状ハンドル 4 の基端に交差するように装着された L 字操作棒 42 を旋回操作することによって行う。

40

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0027

【補正方法】変更

【補正の内容】

50

【 0 0 2 7 】

図 2 において、シリンダ部材 2 にはその傾斜側に支持腕 3 が設けられている。すなわち、支持腕 3 は本実施形態では鍛造成形された略矩形断面の棒状体で、傾斜して延びた上端（基端）3 1 が水平方向へ屈曲するとともに、下端（先端）3 2 は基端 3 1 とは反対方向へ水平に屈曲して厚肉板状の受け部となっている。そして、シリンダ部材 2 が収縮した状態では、支持腕 3 先端の受け部 3 1 はその下面が、基台 1 が設置された床面 L と平行にこれに近接して位置している。

10

20

30

40

50